

# かがやく本山っ子

向暑のみぎり。蒸し暑さを感じる時節になりました。私ごとで恐縮ですが、ときどき学校の近くにある川べりを散策するのを楽しみにしています。インガメ(クサガメかもしれません。)が甲羅干ししていたり、ハグロトンボが蝶のようにひらひらと舞っていたり、「侵入者が来たぞ」という合図なのでしょうか、ウグイスがけたたましく鳴いたりしています。午後ひととき初夏の自然を楽しめるありがたさに感謝です。

## 本山小学校は特別支援教育の研究を進めています

本校の学校教育目標は、「みがきたかめる」です。豊かな学力をもち、誠実で、心身たくましい児童の育成をめざしています。この目標をかなえるために研究主題を「一人ひとりに優しい学級づくり・授業づくり」と設定し、一人ひとりが学びやすい環境づくり・学力向上に向けた授業づくりを通して具現化を図る研究を進めています。この研究を進める理由は、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた誰もが学びやすい環境を整え、個の違いに対応できる授業や安心して学べる学級集団づくりをめざすことで、学力向上につながると考えたからです。

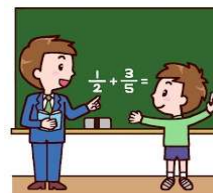


ユニバーサルデザイン教育とはわかりやすくいうと、「より多くの子どもたちにとって、わかりやすい、学びやすい教育(教室環境など)のデザイン」といえます。これまで教室には、担任の創意工夫のもと、学習規律を身につけさせたり学習効果



を高めたりするための掲示物があります。子ども達にわかりやすい指示を視覚的に見えやすくするためです。しかし、落ち着いた学習や生活のためには、刺激を少なくし掲示物を減らすことが有効とも言われています。これからは、さまざまな特性や個性を持った子ども達の**実態**に合わせて、**過ごしやすい環境、学びやすい環境**を作ることが大事と思

われます。研究を通して、一人ひとりの子ども達が、過ごしやすく安心して学べる学習環境をつくっていこうと思います。同時に学力向上につながる人的な環境整備として、ティームティーチングによる複数体制での指導や支援員によるサポートなども充実させていかなければなりません。



具体的な授業実践として、**算数の学習指導**の工夫を研究します。もっともつまずきの多い(大きい)

教科ですので、いかにして個の課題に応じた学習方法や支援体制をとるのが有効か研究授業を通して検証していきます。また、自分の

思いが伝えられ認められる、間違いが許し合える学級づくりが欠かせません。**望ましい学級集団づくり**についても研究していきます。

キーワードは、「一人ひとり」です。『学びたい、わかりたい』という子ども達の願いを叶えるために全職員で知恵を出し合い、『授業が楽しい・よくわかる』子どもの達成感90%以上、『指導力・研修効果の実感』90%以上をめざしていききたいと思います。

## たくましい本山っ子を育てます

今年度新しい取組として、毎週月曜日と木曜日（13：25～13：45）に「運動タイム」を行っています。メニューは、走運動を中心としながら季節や行事も考慮しながら体力づくりをめざしたものを考えています。毎年行われている全国の「体力診断テスト」において、



本校児童は、走力や筋持久力、瞬発力、柔軟性などで課題が見られます。

日頃の体育の授業だけと併せて「課題克服に向け、主体的に体力向上をめざす態度を育てる」ことがねらいです。



これまで5秒間走では、ダッシュや座った姿勢から、後ろ向きから、一回転ジャンプしてなどスタートの方法を工夫しながら楽しく運動に励む姿が多く見られました。6・7月は、体力診断テストで見られた課題克服をめざし、鉄棒やボール、砂場、雲梯などの固定施設や器具を用いたローテーションの運動を行う予定です。新型コロナウイルス対策のため、水泳や密集した運動ができませんが、「楽しみながら体力向上を図る」子どもを育てたいと思います。

## えだまめ挨拶広めます



最近嬉しい話題が、6年生が「朝活」の一つとして、毎朝の7：30～7：45に行っているあいさつ運動です。あいさつ推奨の理由はいくつかあります。まずは、人としての礼儀を身につけるため、多くの人とのコミュニケーション力を高めるため、一日の始まりを元気よくスタートするため、そしてふるさとを明るく活気づけるためです。本校では、毎月第3週目を「あいさつ強調週間」として啓発し、子ども達は頑張りカードに自己評価します。最近停滞気味でしたが、「これではいけない」と6年生が自主的に始めてくれました。正門を含めた数カ所で「おはようございます」のかけ声をしてくれています。あいさつの輪が本山地区に広がるといいですね。

え が お だ れ に で も ま い に ち め を み て

## 挨拶は魔法の言葉

たった一言だけで嬉しくなる 笑顔を見たら自分も頑張らなければと思う。挨拶は大切と思ってもしたくないとき、迷うときは正直ある。迷惑かなと思うことさえある。でも、そんな気持ちの時こそ勇気を出して挨拶をするを選びたい。

それは、挨拶をすることは正しいと思うから 自分に元気を与えるため 親しみの気持ちを伝えたいから あなたも元気になってほしいから 挨拶がかえってこないと少し心配するけれど、あまり気にもしない。



きっと聞こえなかったのだろう・考えごとをしていたのかもしれない・挨拶をする気分じゃ無かったのかもしれない それはそれで仕方ない でも挨拶をするのは間違っていないと思うから私はする。

**お願い** 子ども達の登下校時において、学校正門近くに送迎の車が並ぶことがあります。

(特に雨の日が多いようです。) 先日も「車が通行できない。」「車庫から出られない。」などの訴えがありました。また、実際に児童が接触しそうになった事案もあります。子ども達の安全確保のため、左右の曲がり角から正門までの直線部分をご遠慮ください。